



和歌山市立西和佐幼稚園
園長 藪本 みゆき
令和3年 9月 1日

蝉の大合唱から、秋の虫が奏でる豊かな音色にバトンタッチする時期になり、いよいよ2学期が始まります。

夏休み中、静まり返っていた保育室には、子供達の元気いっぱいの声が聞こえてくることだと思います。

ひと夏を過ぎ一回りたくましくなった子供達。これからは、身近な自然や環境また、友達とのかかわりを一層深めていくと思います。一人一人の日々の遊びや生活をしっかりと見守り、支援し、いろいろな感動体験を通して豊かな感性が育っていけるよう職員一同で取り組んでいきたいと思っています。

現在、新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願いしている中ではございますが、これからも引き続き、子供達の健康管理、安全対策には十分気を付けていきたいと考えています。

2学期も、子供達が日々充実した生活を過ごせますよう、保護者の皆様方のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



☆お知らせとお願い☆

◎創立記念日

9月1日は西和佐幼稚園の68回目の創立記念日です。

◎敬老参観は、今年度も中止となりました。

今年度も、祖父母の方々に子供達から、心のこもったハガキを贈る予定にしていますので、よろしくお願いします。
(別紙参照)

◎今学期も、1学期に引き続き、園行事などは状況を見つつ行っていきたいと考え、当面の間は中止になることが多いと思います。9月は、ほとんどの行事は行いませんが、季節の移り変わりや秋を感じる環境、また、子供達の興味関心をもてるような声掛けや援助もしっかりと行っていきたいと考えています。遊びの中で育っていることは、目に見えにくく、分かりにくいものだと思いますが、保護者の方々に分かっていたかのように発信出来るように努めていきたいと考えています。ご協力、ご支援よろしくお願いいたします。

「頑張る」ということ

子供がやろうとすることを、すぐに諦めないように、そして飽きたり、嫌になったりしてきても、私達は、大人として激励して何とかやり遂げられるようにすることが大事です。そうではないとすぐに諦めてしまう子になるのではないかと考えます。

大人は自分の掲げた目標に向かって耐え、辛抱強く何度も繰り返し、上手になって熟達していきますが、これは、練習で一番大事な事ではなく、それ以上に、練習しながらやり方を工夫したり、目指すところを現実的なものとしたり、いつの間にか我を忘れて集中していくことで、本当の意味での熟達が生まれるのです。

小さな子供であれば余計に、熱中して遊び、もっと上手になりたいと思つて工夫が生まれ、さらに面白くなってやり続けるのです。子供が「頑張る」とは、そういう熱中と工夫の中で身に付けていくやり方なのです。

二学期も、熱中し、遊び込めることが出来るような環境や時間を幼稚園でしっかりと作れるようにしていきたいと考えています。

(一部、保育ナビ抜粋)

